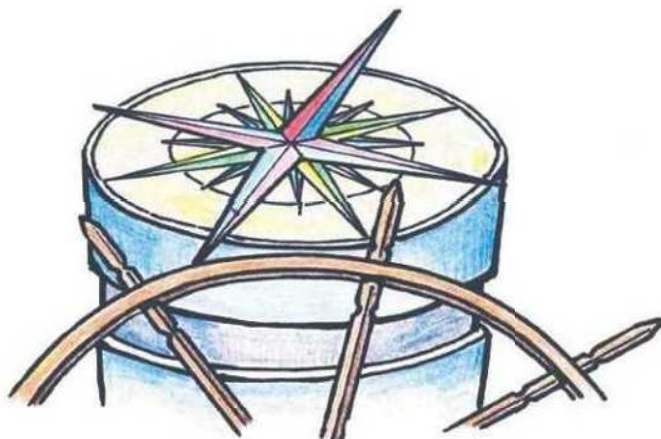


学びの羅針盤



教えることは

学ぶことである

学ぶことは

深く生きようと願うことである

その願いをこめ

子供らに幸あれ

県総合教育センター「教學一如」の碑から

鹿児島県教育委員会

氏名	
----	--

発刊に寄せて

平成27年3月に、学び続ける教師の手引書として「学びの羅針盤」が発刊され、これまで各学校の授業改善を目指した校内研修など様々な機会でも活用されてきました。

令和5年度は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一層推進するため、昨年度までの「学びの羅針盤」に『Ⅳ 教育におけるICT活用に関する基本的な考え方』のページを新たに挿入しました。更に詳しく知りたい方は、二次元コードを使い、より詳細なページへとつながるようにしてあります。また、「学び続ける教師」のために、本資料には協議の視点を示すとともに、各学校や個人で記入できる欄を設けています。協議内容や取り組みたいことを追記して、自校の実態に応じた独自の「学びの羅針盤」へと高めていただきたいと思います。

児童生徒の学びの深まりや学力は、授業の質や学校全体の取組により大きく左右されます。だからこそ、個々の教職員、学校は、一人一人の児童生徒と学校全体の学力に真摯に向き合い、質の高い授業の実現や学校の組織的な取組の充実を目指さなければなりません。そのために、先達がこれまでに蓄積してきた知見を生かし、教職員一人一人が主体性や同僚性を発揮し、研鑽に努めていくことが求められているのです。

本資料を媒介として、「そもそも子供達はどんな存在なのか」「そもそも学力とは何か」等、そもそも論に立ち返って教師同士で意見を交流したり、授業改善の在り方を論議したりしてほしいと思います。また、保護者の方々とも同様に学力向上について語り合う姿も期待します。

最後になりますが、発刊につきまして御協力いただいた鹿児島県学力向上検証改善委員会をはじめとする関係の皆様へ、厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

鹿児島県教育庁義務教育課

I 児童生徒が身に付けられるようにしたい資質・能力 P1

II 主体的・対話的で深い学びを実現するために P1~P20

- | | | | |
|--------------------|----|--------------------------------------|--------|
| 1 主体的・対話的で深い学び | P1 | 5 学習の基盤となる学級集団 | P7 |
| 2 本校が育む子供の姿 | P2 | 6 子供の学びの姿から始まる校内研修
(コアスクールプロジェクト) | P8 |
| 3 単元(題材)を意識した授業づくり | P3 | 7 「ユニバーサルデザイン」と「特別支援
教育」の二つの視点 | P9 |
| 4 質の高い授業の展開例 | P4 | 8 各教科の授業づくり | P10-20 |
| ・ 意図的な机間指導 | P5 | | |
| ・ 思考の流れに沿った板書 | P5 | | |
| ・ 思考の流れが分かるノート指導 | P6 | | |

III 学び続ける教職員であるために P21~P23

- | | |
|--------------------|-----|
| 1 組織で取り組む学力向上のサイクル | P21 |
| 2 本校の学力向上のサイクル | P22 |
| 3 学力調査等の結果分析 | P23 |

IV 教育におけるICT活用に関する基本的な考え方 P24

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1 学校教育の質の向上に向けたICTの活用 | P24 |
| 2 ICT活用において大切にすべき視点 | P24 |
| 3 ICT機器、1人1台端末の活用例 | P25 |
| 4 ICT活用に関する情報 | P27 |

V 家庭学習の充実を図るために P28

- | | |
|-----------------|-----|
| 1 家庭との連携 | P28 |
| 【参考】 かがしま家庭教育ナビ | |
| 2 授業と連動した家庭学習 | P28 |
| ・ 学習量と学習内容の確保 | |

VI かがしま学力向上支援Webシステムを活用するために P29

VII 学力向上に関する情報 P29

- 鹿児島県総合教育センターWebサイト
- 国立教育政策研究所Webサイト
- その他



協議の結果や自分の考えを記入する欄を設けていますので、有効に活用しましょう。